

「長い小説」



著者自身の父をモデルにした「父と子」の物語、宮本輝「流転の海」シリーズの第六部『慈雨の音』が刊行されました。戦後の大阪の闇市を舞台として始まる第一部の出版が1984年ですから、30年近く書き継がれている、著者のライフワークです。今回はそんな「長い小説」を紹介いたします。秋の夜長に楽しまれてはいかがでしょうか。

長い小説といえば、中里介山『大菩薩峠』。図書館にある富士見書房の文庫では全20巻で各巻400ページ以上あります。1913年から41年にかけて新聞などに連載された長編時代小説です。剣士・机竜之助を主人公とし、甲州大菩薩峠に始まる彼の旅の遍歴と周囲の人々のさまざまな生きざまを描きます。大衆小説の先駆けとされ、谷崎淳一郎や芥川龍之介らが称賛しましたが、著者の死とともに未完に終わりました。なお、インターネットの電子図書館「青空文庫」で全文を読んだり、ダウンロードしたりできます。さらに長い時代小説として有名なのが、山岡荘八『徳川家康』です。1950年から67年まで新聞に連載されました。こちらは未完ではなく、徳川家康の生母、於大の方の縁談から、家康逝去までの70余年が描かれています。高度成長期には経営者の教科書としてベストセラーになり、最近では韓国や中国でも出版され、売り上げも良いそうです。図書館の講談社愛蔵決定版では、全18巻で「随想徳川家康」と「徳川家康年譜」付きです。

新刊紹介

書名	著者
〈わたし〉を生きる一女たちの肖像―	島崎今日子
世紀の復興計画	後藤 新平
国債クラッシュ―震災ショックで迫り来る財政破綻―	須田慎一郎
これだけは知っておきたい物理学の原理と法則	池内 了
低炭素社会のデザイン	西岡 秀三
日本ボロ宿紀行	上明 戸聡
密室晚餐会	二階堂黎人編
いまファンタジーにできること	ル・グウィン

図書館だより

10月7日から新しい図書館システムが稼働しています。ご自身で貸出処理をして本が借りられる「セルフ貸出機」を導入しましたので、体験してみてください。また、子ども専用のOPAC（図書検索用パソコン）も入りました。「ほんナビきっず」という楽しみながら本を探せるソフトが使えます。ご家族で図書館に本を借りに来てください。

11月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

※○が休館日です

開館時間	
火～金曜日	10:00～19:00
土・日曜日、祝・休	10:00～17:00

※図書館のご利用は無料です